

目 次

発刊にあたって 加西市長 柏 原 正 之
加西市史発刊にあたって 加西市史編さん委員会委員長 福 永 文 夫

第 1 章 加西市とその周辺の地質	1
第 1 節 加西市付近の地質のあらまし	2
1. 地形・地質図を利用されるにあたって	2
地質図とは 地質の凡例 地質図の利用	
2. 加西の地質 その研究史	5
最初の地質図 地質鉱産図以降	
3. 日本列島の中での加西の地質	7
4. 加西の地質にふれる前に—地角斜からプレートテクトニクスへ—	8
地角斜 プレートテクトニクス 付加体	
5. 加西市付近の地質概説	11
第 2 節 加西市付近の地質構成	15
1. 上月—龍野帯	15
夜久野複合岩類 龍野層群 上月—龍野帯の地質構造	
2. 超丹波帯	19
福住層	
3. 丹波帯	22
はじめに	
Aグループのコンプレックス	
岡崎コンプレックス 河内コンプレックス 若井コンプレックス	
大屋コンプレックス	
Bグループのコンプレックス	
日光寺コンプレックス 八千種コンプレックス	

丹波帯の地質構造	
4. 白亜紀火山岩類	39
火成岩・火砕岩の分類について 有馬・相生・生野層群とは	
広峰層	
流紋岩溶結ガラス質結晶凝灰岩 流紋岩溶結ガラス質結晶凝灰角礫岩	
四郷層	
火山礫凝灰岩～凝灰岩角礫岩 角礫岩 成層凝灰岩類 流紋岩溶岩	
強溶結凝灰岩 流紋岩溶結結晶ガラス質凝灰岩 軽石凝灰岩	
鴨川層	
火山礫凝灰岩～凝灰岩角礫岩 安山岩類 成層業界岩類 流紋岩溶岩	
強溶結凝灰岩 軽石凝灰岩	
凝灰岩脈	
平木溶結凝灰岩 未区分の凝灰岩類	
5. 播磨花崗岩類	57
志方花崗岩 山崎紋象斑岩 明楽寺花崗閃緑岩	
6. 岩脈類	60
岩脈類	
7. 神戸層群	61
吉川累層 長尾砂岩泥岩部層 吉安砂岩泥岩礫岩部層	
神戸層群の化石と時代 化石 放射年代	
第3節 加西市の地史	67
1. 古生代の加西	67
石炭紀の加西 二畳紀の加西	
2. 中生代三畳紀の加西	70
3. ジュラ紀の加西	71
4. 中生代白亜紀の加西	73
白亜紀という時代	
白亜紀の生物相 白亜紀の地殻変動と東アジア・日本 白亜紀のようす	
特異な角礫岩 中山・西剣坂の角礫岩 暮坂峠角礫岩 金出地角礫岩	
白亜紀後期のようす マグマの性質と火山活動 加西市周辺の火山活動	
初期の火山活動—広峰層— 南部を中心とした活動—四郷層—	
北東部での活動—鴨川層— 広域に噴出した大規模火砕流—平木溶結凝灰岩—	
火山活動の時代 放射年代測定法 年代の測定値 地下でのマグマ活動	

	浅いところに貫入した深成岩類 マグマ活動の変遷 岩脈類の形成	
5.	新生代古第三紀の加西 暁新世の加西 始新世の加西 漸新世の加西	100
6.	新生代新第三紀の加西 中新世という時代 中新世の加西 鮮新世の加西	105
第2章 地 形		119
第1節 加西市域の地形を見るにあたって		120
1.	加西市域の地形的な位置 中国山地 3Dで見る東播磨の丘陵・台地 東播磨の地質と起伏 加西の起伏の特徴と複雑さ	120
2.	地形の素材になるものとその道具	123
3.	地形の用語 段丘地形の出来方および段丘面・段丘崖 段丘礫層 段丘地形の成因について	124
第2節 播磨における造化の神の仕業—加西市周辺の地形形成—		129
1.	大地の隆起—造化の神の作用Ⅰ— (1)小野台地 小野台地上の段丘面区分 小野台地の南北断面 (2)いなみの台地 いなみの台地の東西断面 (3)市川中・下流の河岸段丘 段丘分布の特徴と縦断面形 (4)東播磨の段丘面に共通する現象—傾動隆起—	129
2.	気候の変化—造化の神の作用Ⅱ— (1)第四紀の気候変化 氷期と間氷期の反復 (2)気候の変化と地形形成作用の変化 (3)海岸での現象 氷河性海水面変化 間氷期の地形形成	137

第3節 播磨に見る造化の神の業績	143
1. 氷期の播磨の山地における諸現象	143
周氷河作用 播磨の地形と周氷河作用	
2. 氷期の播磨の山麓における現象	145
麓肩面の形成 形成のプロセス 山麓地形の発達モデル	
麓肩面の広域的な分布 扇状地の形成	
3. いなみの台地と明石川の段丘—2つの原則の反映者—	148
いなみの台地における海成段丘の形成 その形成期	
明石川の段丘—傾きの違う2つの河岸段丘—1海進2段丘面セット	
4. 加古川上・下流の段丘面の対比	152
第4節 加西市域の地形分類	158
1. 地形分類図の作製	158
2. 地形分類部門における分類項目	159
麓肩面 段丘 扇状地 氾濫原・谷底平野 旧流路 自然堤防	
人工地形(人工改変地)	
第5節 加西市域における造化の神の成果品—段丘地形とその特徴—	163
1. 市域の段丘地形とその性状	163
(1)市域の段丘面	
(2)段丘面群の区分とその性状	
青野ヶ原段丘面群 別府・玉丘段丘面群 鶉野段丘面群 下里川段丘面群	
(3)段丘面群の高度分布とその特徴	
南北断面—万願寺川・普光寺川沿い— 東西断面—下里川沿い—	
(4)加西市域の段丘群の性状のまとめ	
2. 市域の表層地質とその特徴	173
(1)中国自動車道の柱状図から	
(2)各地形区の表層地質	
万願寺上流地形区 普光寺川上流地形区 油谷川(多加野)地形区	
北条バレー地形区 別府・別所地形区 福居・山下地形区 鶉野台地地形区	
下里盆地 下里川低地 万願寺川下流低地 青野ヶ原台地	
普光寺・万願寺川の河床断面と構成層	

(3)表層地質のまとめ

第6節 加西市域の地形発達史	187
1. 小野台地における段丘形成—第二瀬戸内海の縮小過程の段丘群—	187
気候変化による段丘化 湖岸の段丘 段丘形成と年代	
低所の河岸段丘群 小野台地の歴史	
2. 加西・小野両市域の段丘面の対比	191
3. 古加西湖の誕生と市域の段丘群	194
青野ヶ原段丘面群が形成される前	
青野ヶ原段丘群の形成—およそ60万年前頃から—	
別府・玉丘段丘面群の形成—およそ50万年前頃から—	
鶉野面群の形成—およそ40万年前頃から—	
下里川段丘面の形成—30～20万年前頃から—	
第三瀬戸内海以降	
第7節 加西市域の地区別地形誌	197
1. 加西市域の地形区	197
2. 加西市域の地区ごとの地形の特徴	
万願寺上流地形区 普光寺上流地形区 油谷川(多加野)地形区	
北条バレー地形区 別府・別所地形区 福居・山下地形区	
鶉野台地地形区 琵琶甲断層 下里盆地 下里川低地 万願寺川下流低地	
万願寺川河床断面と段丘面高度 遷急点と井堰 井堰と段丘面の高度	
青野ヶ原台地	
第8節 加西市域の地形・地質のまとめ	211
第3章 土 壤	231
第1節 加西市の農耕地土壌	232
1. 農耕地土壌の分類と土壌統	234
2. 農耕地土壌の分布	234
3. 農耕地土壌の特性	234
褐色森林土 黄色土 褐色低地土 灰色低地土 グライ土	

4. 農耕地土壌の生産力の特徴	242
第2節 加西市の林地土壌	249
1. 森林の姿	249
1) 森林の現況	
2) 森林の遷移	
2. 林地土壌	253
1) 林地土壌の生い立ち	
(1)土壌化作用	
(2)土壌化を進める因子とその働き	
気候・地形・地質 生物・時間	
2)林地土壌の分布と性状	
褐色森林土群	
褐色森林土亜群 赤色系褐色森林土亜群 褐色森林土的未熟土亜群	
受色土的褐色森林土亜群 赤色土群	
未熟土群	
未熟土亜群 受色土亜群	
第4章 気候・気象	265
1. 気候の概略	266
日本の気候区分 月別の気候概説	
2. 加西の天気	272
冬の天気 春の天気 夏の天気 秋の天気 年間の天気	
3. 気温	275
気温分布 気温の比較 最高気温の平均 最低気温の平均	
加西市内の気温分布 気温の経年変化 気温の記録	
4. 降水量	282
降水量分布 月別降水量 降水量の経年変化	
5. 風	286
風向頻度 風速 季節別風の特徴 台風の風 海陸風	
6. 台風	290
7. 日照と雲量	291

8. 湿度	292
実効湿度	
第5章 動植物	301
第1節 加西市の植生	302
1. はじめに	302
2. 群落の区分	302
3. 群落各論	305
1) 自然植生	
I 森林植生	
II 草木植生	
抽水植物 池岸潮間帯植生 湧水湿地植生	
2) 代償植生	
草本群落 畑地雑草群落	
3) 人工植林	
4) 加西市貴重植物群落	
第2節 ため池の水生植物	357
1. はじめに	357
2. 調査ため池の概要	359
3. 水生植物の出現頻度	360
4. 加西市のため池の水生植物相	361
(1) 抽水植物	
(2) 浮葉植物	
(3) 沈水植物	
(4) 浮遊植物	
5. 加西市のため池に産する絶滅危惧水生植物	366
6. ため池に付随する湿地の植物	369
7. 加西市内のため池の水生植物の約20年間の変化	371
8. 加西市内で特に注目すべきため池(群)	373

(1) A地区	
(2) B地区	
(3) C地区	
9. おわりに—ため池保全と活用のために—	374
第3節 水生動物	385
1. 水域の水生動物と多様さ	385
2. 無脊椎動物	387
1) 昆虫類	
(1) 水生カメムシ類	
アメンボ類 コバンムシ ナベブタムシ マツモムシ類 タイコウチ類	
コオイムシ ミズムシの仲間	
(2) 水生甲虫類	
ゲンゴロウ類 ガムシ類 ミズスマシ類 ホタル類	
(3) トンボ	
イトトンボの仲間 サナエトンボ・エゾトンボの仲間	
ヤンマ・オニヤンマの仲間 シオカラトンボ・アカトンボの仲間	
2) その他の節足動物	
(1) エビ・カニの仲間	
ミナミヌマエビ スジエビ モクズガニ サワガニ アメリカザリガニ	
(2) カブトエビの仲間	
カブトエビ類 カイエビ類	
3) 貝の仲間	
(1) 巻貝の仲間	
タニシ類 カワニナ類 モノアラガイ カワネジガイ サカマキガイ	
(2) 二枚貝の仲間	
ドブガイ イシガイ マシジミ	
4) その他の無脊椎動物	
マミズクラゲ カンテンコケムシ オオマリコケムシ	
3. 脊椎動物	403
1) 魚類	
(1) ため池の魚類	

メダカ ドジョウ カワバタモロコ・モツゴ ドンコ・トウヨシノボリ
イチモンジタナゴ タイワンゼジョウ・カムルチー オオクチバス
ブルーギル

(2)川の魚類

カワムツ オイカワ ニゴイ カマツカ ナガレホトケドジョウ

2) 両生類・は虫類・ほ乳類

(1)両生類

トノサマガエル ツチガエル・ヌマガエル ニホンアカガエル
モリアオガエル・シュレーゲルアオガエル ウシガエル
カスミサンショウウオ イモリ

(2)は虫類

イシガメ・クサガメ

(3)ほ乳類

ヌートリア

3) 水鳥類

(1)サギ類

(2)バン・カイツブリ

(3)カモ類

(4)セキレイ類

(5)チドリ類

(6)シギ類

第6章 地名・街道・道標…………… 429

第1節 地名の研究…………… 430

1. 小字と大字…………… 430

地名と生活 小字地名

2. 地籍図と地名…………… 431

地籍と地籍図 加西の字限図

第2節 加西市の小字地名(1)…………… 434

1. 北条地区…………… 434

北条 小谷 栗田 横尾 古坂 東高室 西高室 東南 西南 黒駒

2. 富田地区	435
谷町 西谷町 畑町 窪田町 吸谷町 西上野町 市村町 坂元町 福居町 谷口町 吉野町	
第3節 加西市の小字地名(2)	438
1. 賀茂地区	438
福住町 山下町 西横田町 東横田町 鎮岩町 岸呂町 東長町 西長町 東剣坂町 西剣坂町 中山町 大柳町	
2. 下里地区	440
王子町 戸田井町 両月町 大村町 尾崎町 段下町 中西町 琵琶甲町 野条町 牛居町 野田町 東笠原町 西笠原町 三口町 坂本町 倉谷町	
第4節 加西市の小字地名(3)	444
1. 九会地区	444
中野町 田原町 網引町 栄町 桑原田町 繁昌町 上宮木町 下宮木町 鶉野町	
2. 富合地区	446
都染町 別府町 常吉町 朝妻町 豊倉町 玉野町 山枝町 玉丘町	
第5節 加西の小字地名(4)	449
1. 日吉地区	449
和泉町 河内町 山田町 野上町 池上町 西野々町 島町 満久町	
2. 宇仁地区	450
馬渡谷町 大工町 鍛冶屋町 油谷町 田谷町 国正町 小印南町 青野町	
3. 西在田地区	452
若井町 大内町 下道山町 上道山町 下万願寺町 上万願寺町	
4. 在田地区	453
殿原町 鴨谷町 笹倉町 中富町 越水町 北町 別府町 佐谷町 上野町 広原町 下芥田町 上芥田町	
第6節 加西の地名の特徴	456
1. 集落の地名	456

垣内 町	
2. 寺社関係の地名	456
神社に関わる地名 寺院に関わる地名	
3. 農業関係の地名	458
耕地 溜池・用水	
4. 自然地形の地名	459
谷 山 その他	
第7節 地名の変化と継承	461
1. 地名研究の資料	461
生きている地名 地名の変化を考える史料	
2. 地名の継承	462
地名の継承 坂本町 池上町 鍛冶屋町 青野町	
第8節 主要交通路とその利用者	466
1. 主要交通路	466
加西市の位置 絵図に見る交通路	
2. 市内を通行した人々	467
西国巡礼者の記録 柳田国男の記録 その他	
第9節 市内の道標	471
1. 道標と町石	471
道標 町石 道標・町石の建立場所 道標の建立と維持管理	
2. 石造物としての道標	473
道標の分布と形態 道標の建立年 道標の建立者	
3. 道標の目的地	477
目的地	
付 加西の市花・市木、天然記念物	
写真・図・表一覧	
執筆者・監修者紹介	